

Saiin

健康な住まいと
暮らしのサイン
2022 Winter

75

冬の音色が心をとがして



はじめのSAiN

花鳥風月

自然の風物を愛でる楽しみ

ああ諸君はいま

この颯爽たる諸君の未来圏から吹いて来る
透明な風を感じないのか

宮沢賢治の『春と修羅』におさめられた
「生徒諸君に寄せる」という詩の一節です。

風は目には見えませんが、草木の揺らぎ
や音、香り、雲の流れ、肌にあふれる感触など
で感じることができます。

春の風は「春一番」や「東風（こち）」、夏の
風は「南風（はえ）」や「青嵐（あおあらし）」、
秋の風は「金風（きんぷう）」や「野分（のわ
き）」、冬の風は「木枯らし」や「からっ風」な
ど、季節ごとに吹く風の名を知ると、風の姿
が立ち現れてくるようで不思議です。

今この時代を生きる私たちに吹いてくる
「未来圏からの風」は、どんな色や香りを運
んでくるのでしょうか。

SAiN 2022 Winter 75

サイン二〇二二年
冬号をお届けいたします

今号が

みなさまのお手元に

届くころには

新しい年がはじまっている

ことかと思えます

この冬の景色を映す

心象スケッチに

小さくとも手応えのある

いきざしのサインが

見つかりますように

SAiN 75号 目次

01 はじめのSAiN

03 「SAiN特集」

木と人の暮らし 世界篇

05 空気がうまい家 全国体感録

ご家族の

暮らしと一緒に

育てていく家

09 施主 渋谷浩一郎様 エッセイ
四季めぐる空気がうまい家

11 おもやの食卓

冬の旬食材 かぶ

14 SAiN エッセイ

モノと記憶の結び付き

くサステナブルを考えるく

15 住まいと健康のいい関係

「無添加」というだけでは

「健康住宅」と言えない？

16 カイケンブランド

健康自然建材

17 こだわりプレゼント
編集ほのぼの後記

COVER STORY



「時を超える価値のある暮らし」というテーマでお届けしている『SAiN』。2022年冬号の表紙は、冬の旬食材「かぶ」と、木製のプリンターブロックをフレームにレイアウトしたアンティークオブジェです。

「プリンターブロック」とは、活版印刷の版のことで、写真のものは1950年代にイギリスで使用されていました。長い年月を経た独特の風合いが、重厚な存在感をただよわせています。この活版を使って、どんな言葉が印刷され、どんな人がその言葉を読んでいたのでしょうか。

活版印刷の古書に感じられるような、時を超えて伝わってくるじんわりとしたぬくもりのある冬にしたいですね。

『SAiN』のお申し込みなどはWEBサイトで。
<https://www.e-kaiken.com/sain/>
©KAIKEN CORPORATION



舞や踊りのときにつけるお面や、人形劇に使う操り人形など、世界各地のお祭りやカーニバルの余興にも木製品がよく使われます。木を用いた手作りの品々に独特の愛嬌が生まれてくるのは、「人を楽しませたい」という作り手の心が伝わるからなのでしょう。

写真右は韓国の木製お面。「ハフェタル」というお面は、東洋一古いお面ともいわれ、縁起物として壁に飾ったりもするようです。左上はネパールの民芸品でハンドメイドの操り人形。ヒンドゥー教の神々に由来するものが多いようです。左下は北アフリカのチュニジアの手作り木製人形。

木で興ずる



写真上と下は、世界遺産に登録されているチリ南部チロエ島の木造教会群。17~18世紀にかけて宣教で訪れたカトリックのイエズス会士たちによって、多くの木造教会が建てられました。写真右は、中世に建てられたノルウェーの伝統的なスターヴ教会。「スターヴ」とは、太い木の支柱のこと。現存する最古のスターヴ教会も世界遺産に登録。「アナと雪の女王」に登場するお城のモデルになったともいわれています。



LIFE WITH WOOD

木と人の暮らし

Vol.2

世界篇

木は薪や木炭になり、燃料として私たちの暮らしを支えてくれるだけでなく、その「煙」で、美味しい保存食も生み出してくれます。スコットランドのスマークサーモン、アメリカのビーフジャーキーやスモークBBQ、ドイツの燻製ハムなど、世界各地で多種多様な燻製・スモークが、木の燻煙から生み出されています。

木で燻す



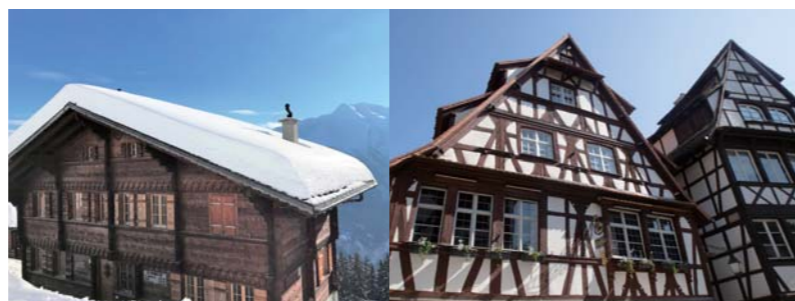
写真左はフィンランドのスマークサーモン。写真右はドイツの田舎道の脇に積まれた薪。燻製には香りのいいサクラ、ブナ、おがくず、ヒッコリーなどの木が使われます。



世界で最も美しい公園のひとつといわれるカナダ・バンクーバーのスタンレーパークにある先住民たちのトーテムポールのレプリカ。

木に刻む

北米大陸の太平洋沿岸に暮らす先住民固有の文化であるトーテムポール。「トーテム」は、特定の部族・家族や血縁・血統に宗教的に結びつけられた野生動物や植物などの象徴をあらわします。先住民たちは柔らかく加工しやすいレッドシダーを使ったトーテムポールに、自分たちの出自、身に起こった出来事、功績などを刻み、部族の物語を次世代へ伝え受け継いでいきました。私たちも、木とともにある暮らしを大切に育んでいきたいですね。



写真右はフランス北東部ストラスブールの木組の家。ライン川を挟みドイツと国境を接するこの地の建築は、両国の文化が融合。写真左はアルプスの山小屋。

木と祈る

日本のあちこちにお寺や神社があるように、ヨーロッパでは至るところに教会があります。二千年の歴史をもつといわれるキリスト教の教会建築の基礎となったバシリカ様式は、木の梁と柱による木造軸組工法でした。日本現存最古の木造教会は国宝の大浦天主堂ですが、世界現存最古は、ノルウェーのウルネス木造教会とのこと。世界各地の風土に根ざした木造教会は、厳かな祈りの空間であるとともに、地域の風景の一部になっています。



木に憩う



モンゴル高原の遊牧民たちの伝統的な移動式住居「ゲル」。木組の技術がいかにされています。

木は生き物ですから、ひとつとして同じものではありません。だからこそ、木造の建物のそれぞれにぬくもりや親しみやすさを感じられ、心も体もとのう、リラックした時間を過ごすことができます。のどと思いません。大きな木の木陰こそ、憩いの場所の原点なのかもしれませんね。

前号のSAINで特集した「木と人の暮らし」。今回はその第2回目として、視野を世界に広げ、木と人の暮らしとのかかわりを考えてみます。

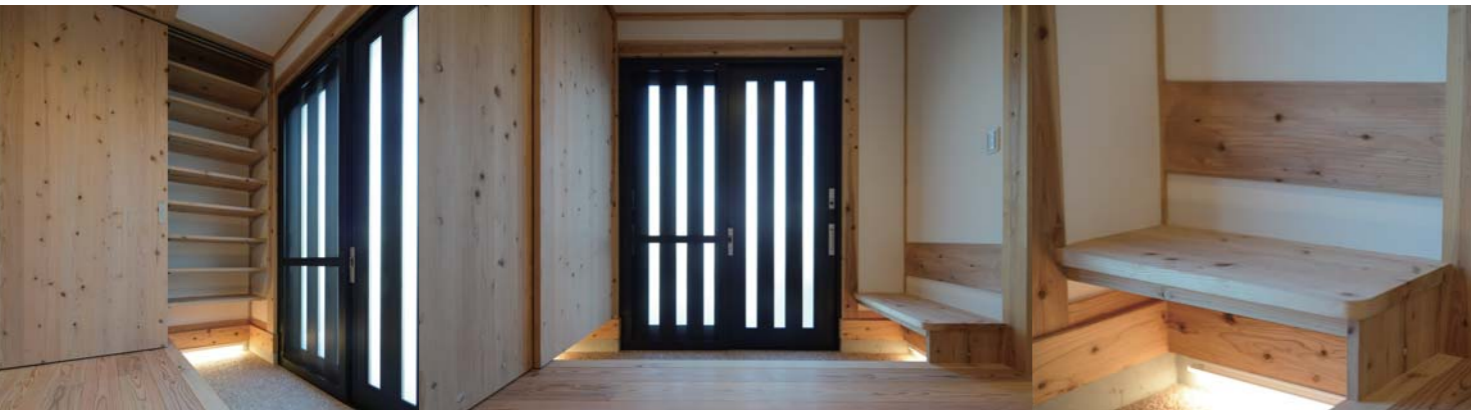


メキシコ・オアハカ州の「アレプリヘス」と呼ばれる木彫りのフォークアート(伝統工芸品)。空想の生き物などがモチーフになっています。



Growing House with Family USA OITA SINCE 2022

シンプルなデザインが美しい外観。2階の窓から見える、心地いいリズムで並んだ照明と梁が印象的です(右ページ写真)。正面向かって左側のフェンスに囲われた部分は愛犬たちのドッグラン。真砂土仕上げでの引き渡しで、お施主様ご自身で芝を張られる予定です(写真上右)。家の側面のデザインもすっきりとした表情です(写真上左)。外構に敷き詰められた「石」たち。自然が生み出す色や形に、同じものはありません(写真右)。



さわやかな木の香りが迎えてくれる玄関は、足元の間接照明、靴を履くときに便利なベンチ、引戸に隠された収納など、機能性も充実しています。

Growing House with Family

ご家族の
暮らしと一緒に
育てていく家

空気がうまい家 全国体感録

音響熟成木材・幻の漆喰・清活畳を使用した
家族にやさしい「空気がうまい家」。
全国に広がるその魅力をご紹介します。

大分県—H様のお住まい

お施主様の理に合ったアイデアに
設計者のプランがどんどん磨かれていく
共同作業によって生まれた二世帯住宅。
品のあるシンプルなデザインが
自然素材の心地良さを際立てる
ご家族の暮らしと一緒に
育てていくお住まいです。



自然素材の表情が美しい住空間は、暮らすほどに味わいを増していく経年変化も楽しめます。



ご主人のお仕事の都合で大分に移住されたH様ご家族。2度目となった今回の家づくりでは、経験とセンスをいかして積極的にアイデアを出されました。建築と外構の設計施工を手がけられた工務店の担当者さんの持論は、「建築プロ



デューサーはお施主様のよき伴走者であるべき。この思いもあって、住み手と作りの間に育まれたのは「信頼」でした。共同作業でのプランはどんどん良くなっていき、満足のいく素敵なお住まいが生み出されることになりました。



H様邸は照明もこだわり、空間の質がいっそう高められています（写真上右）。玄関ホールから続く廊下には便利な収納棚が設けられています（写真上左）。



使い勝手のいい子帯用のウォークインクローゼット兼ランドリールーム。洗濯物は写真奥の勝手口外の屋根付物干しスペースに干し、乾いたらそのままルーム内のそれぞれのスペースに収納できます。室内干し用のパイプも便利。

信頼から生み出された 住み手と作り手のコラボレーション

Growing House with Family



2つの子ども部屋は、子どもさんたちのリクエストに応えたロフト付き。天井を高くしてロフトを設けることで、4畳半のスペースがとても贅沢な空間に仕上がっています（写真上/写真右上/写真右中）。ダイニングテーブルセットなど、家具や建具にも音響熟成木材が使われ、自然素材の心地よさに満ちています（写真右下）。木の年輪の凹凸を際立たせた「うづくり」加工の美しい表情（写真下）。

◎総二階二世帯住宅（共用部：玄関/洗面脱衣室/浴室/洗濯物干場）



古代ローマの建築家ウィトルウィウスによれば、建築の三要素は「強（耐久性）」と「用（機能性）」と「美（芸術性）」。自然の力が生きている素材から生まれたH様邸は、ウィトルウィウスの理想にかなう住まいではないでしょうか。



また、H様邸は、ご自身で芝を張られるドッグランやお庭に加え、自然素材の家そのものにも「育てる」という楽しみがあります。歳月と共に、ご家族の暮らしがどんなふうにもこの住まいを彩っていくのか、いつかまたお訪ねしたいですね。

「強」と「用」と「美」と、「育」。



H様邸はお施主様のアイデアが随所に反映された間取りプランになっています（写真上は2階子帯LDK）。採光用に切り取られた1階親世帯の入口へ続く廊下の壁（写真左）。額縁の中の絵のように2階子帯へ上る階段が見えます。

卵の知恵とおいしいスープ

施主様からの特別寄稿
四季めぐる
空気がうまい家
文●渋谷浩一郎様

京都府宇治市で空気が
うまい家にお住まいの渋谷様ご家族。
四季めぐるその暮らしを、
施主様ならではの
エッセイにてお届けいたします。

穏

やかだった秋の終わりは、急激にやってきた様に感じます。それと同時に、再びコロナが流行し始めました。コロナの広がりを抑えるために、私たちはマスクを着用し、手洗い・うがいなどの注意をしてみました。また、ワクチンや飲み薬も活用されてきましたが、終焉を迎えたとは言にくい状況です。

この様な状態は、決して「良い状態」とは言えませんが、もう少し、長い目で見ると、現在生きている人や動物・植物は、「これまでに何度もこの様な危機的な状態を乗り越えて来た凄いやつらさをもっている」とも言えそうです。

先日、お料理が大好きな知人から、卵白を使った面白いアク取りの方法を教わりました。ですから、今日は、鶏ガラスープでもとりながら、卵がもっている凄いやつらさを感じて通して、今、元気に過ごしていることがどんなに素晴らしいことなのか改めて実感していただけると思います。

こんな話を通して、今、元気に過ごしていることがどんなに素晴らしいことなのか改めて実感していただけると思います。

卵の黄身は宙に浮いている

祖父の家の縁側の床下には、鶏が十羽ほどいました。幼い頃、ひとしきり遊んだ後に「お腹が空いた」なんて言う時、「縁側の床をめぐって卵があれば食べていいよ。」なんて言われたものです。

祖父によると、卵を割らずに、小さな穴を開けて、そこにお醤油を少ししたらして、ストローをさして食すのがイキらしいのです。

そう言われるとやってみたくなり、挑戦してみたことがあります。ところが、結果は、不味かったです。

今思えば、自由に庭も縁側の下も行き来していた元気な鶏の卵ですから、不味いはずがないのですが…。

実は、その不味さの原因は、卵自身の問題ではなく、私の混ぜ方に問題があったのです。ストローをパツとさして、数回混ぜたくらいでは、白身と黄身がほとんど混ざらず、私は先に

卵白は病気をやっつける

こうして「卵白は生命を守るもの」という見方をすると、新たな発見をすることができません。先にも触れた様に、卵白は卵黄を衝撃から守る役割を果たしていると同時に、細菌の感染を防ぐ役割も果たしています。

簡単に言えば、卵白は、卵の外部から侵入してきた細菌の壁を溶かす成分をもっていたり、鉄分を強く引きつける成分をもっていたりします。鉄分を引きつけることで、菌の繁殖を抑えるなんていうこともしているようです。

当然と言えば、当然のことですが、鶏に限らず全ての生命は、命を守るために私たちの知らないところで、驚くような工夫をしているのです。まだまだ、解明されていない工夫もきっとたくさんあるんじゃないかなあと思います。

今を生きる私たちの身体にもきっとこんな工夫が計り知れないほど隠されているはずなんです。こんなことをふと考えると、時々、身体の声聞いてあげると、とても大切なことだと思えます。

卵白をつかった

鶏ガラスープのアク取り方法

卵白は、外敵から身を守るための工夫が詰まったものでした。

また、加熱すると、凝固するのですが、この時に余計なものを巻き込みながら凝固するために、徹底的にアク取りをするのに活用できるそうです。



1 鶏ガラなどの材料を鍋に入れて煮立たせます。今回は、「鶏ガラ・昆布・にんじん・しょうが・ねぎ」を入れて煮込みました。



2 アクが浮いてきたら、卵白を静かに入れます。しばらくすると、少しずつ卵白が固まっています。



3 卵白入りの鶏ガラをこしていきます。



4 こしたスープに再び、鶏ガラだけを戻して、再び2時間ほど煮込みます。この時、鶏ガラに付着した卵白は取り除いておきます。



5 十分に煮込んだら、綺麗なスープの完成です。鶏ガラスープにお醤油を少し入れてみました。

雑味のない美味しいスープができました。お料理店などでは、こうして完璧にアクを取り除くこともあるそうですが、一体、誰がこんな方法を考えたのでしょうか。

卵白は雑味を取り除いてくれますが、旨味はきちんと残してくれるなんて、実に見事です。自然の中にあるものって、工夫次第で想像以上の働きをしてくれるんだと感じた瞬間でした。今、庭のネギも寒さに耐えて暮らしていますが、彼らの身体の中にも、寒さに耐える秘訣が隠されているんじゃないかなあと思います。

See you next time!



季節を味わう

おもやの

食卓

なんでもいつでも揃う
いまこの時代に、
あらためて「旬」のものを
見直してみたいと思います。
旬のものは、体にいいし、
なんととっても、
みんなでおいしく
いただけますから。



冬の旬食材 かぶ

弥生時代に中国から伝わったといわれ、昔からなじみのある「かぶ」。品種もさまざま、呼び名もいろいろで、「かぶら」「かぶな」「かぶらな」「すずな」とも呼ばれます。旬の冬には、大きいものや小ぶりなもの、赤いものなど、地域によってさまざまなかぶが出回ります。寒さが増すとどの品種も甘味が増して、より美味しくなりますね。

白菜・チンゲン菜・キャベツ・菜の花などと同じアブラナ科のかぶは栄養たっぷりです。根には消化酵素のアミラーゼを含み、胃もたれや胸やけを抑える働きを持っています。葉には免疫力を高めるβカロテンや、風邪の予防・疲労回復に効果があるビタミンCに加え、カルシウムやカリウムなど、根よりもたくさんの栄養素が含まれています。

ほっこりサラダで根も葉も美味しく

身体のしんから温めてくれる根菜料理は、寒い冬にぴったり。火を入れることで、より素材の美味しさが出てくる根菜の特長をいかして、今回は、焼きかぶのサラダをご紹介します。

かぶは、皮にハリとツヤがあり、ずっしりと重みのあるものを選びましょう。葉の緑色が鮮やかでみずみずしく、茎と根のつなぎめが変色していないかどうか鮮度の目安になります。

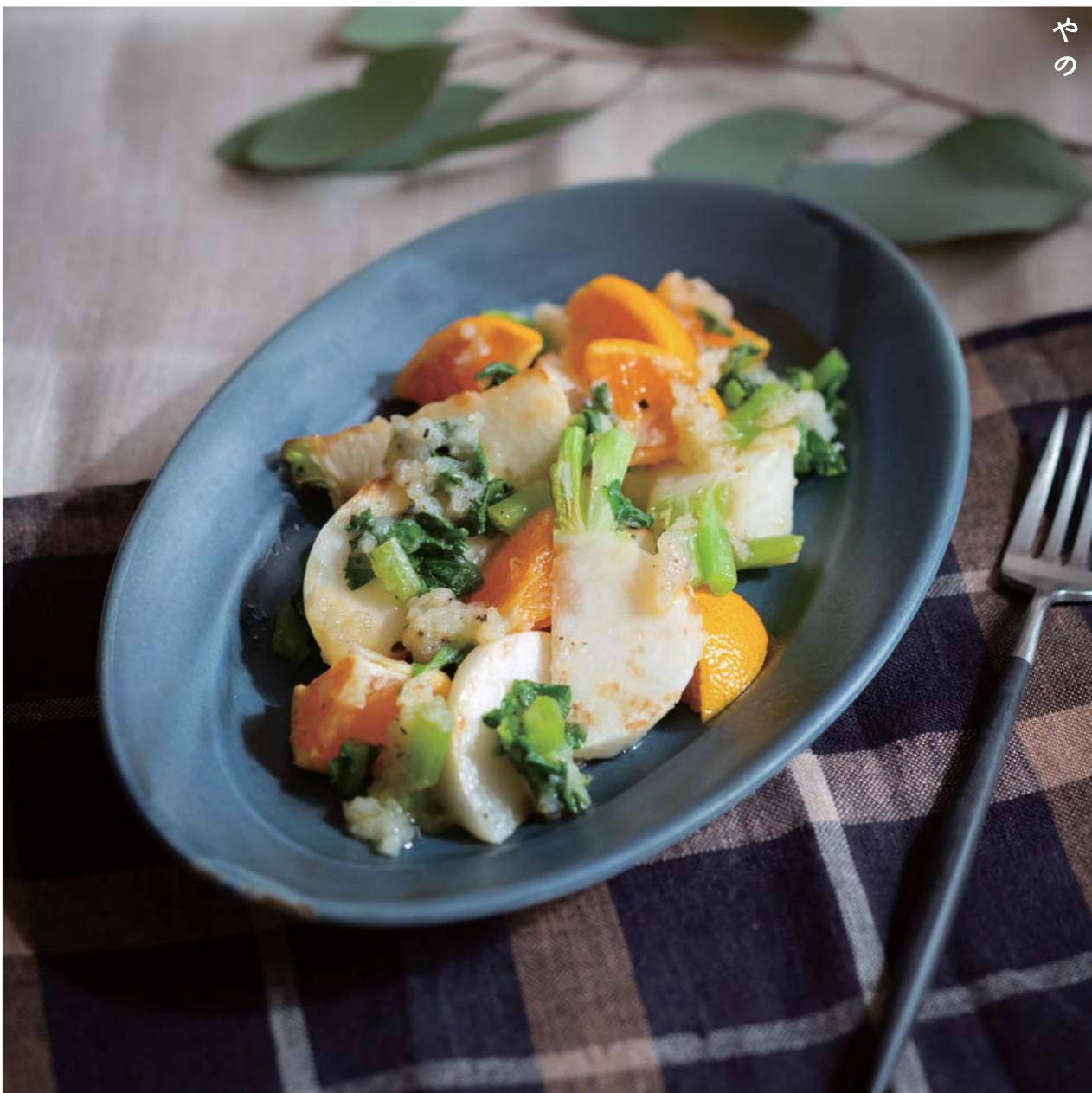
根は色がつくまでじっくり焼いて、葉はさつと茹でて。ドレッシングにもすり下ろしたかぶを使って、根も葉も美味しくいただきます。

ほっこり美味しい焼きかぶの甘さに、ワインビネガーとみかんの酸味がアクセントになって、食べあさな栄養いっぱいサラダです。



料理 柴田 佳世子

福岡県福岡市生まれ。京都女子大学短期学部家政食管理卒業後、同大学の家政学部食物栄養科研究室勤務。福岡市のフードプロデュース会社を経て、2005年に独立。レシピ作成、フードコーディネーター、料理教室、イベント、レストランなどへのメニュー提案、食育講演活動など、食と料理の様々な分野で幅広く活動中。



香ばしくやわらかな食感にほのかな甘みでほっこりする焼かぶに、かぶドレッシングとみかんの酸味でアクセント。この冬おすすめサラダです。

冬のこたつで春の夢うつつ

「かぶ」は別名「すずな」として、「春の七草」の一つとしても知られます。ちなみに七草の他の六つは、「せり」、「なずな」、「ごぎょう」、「はこべら」、「ほとけのざ」、「すずしろ（大根）」。

この七草を使い、一年の無病息災を願って、人日（じんじつ）の節句（二月七日）の朝に食べる「七草がゆ」もよく知られていますね。

「かぶ」を漢字で「蕪」と書けば、江戸中期の名高い俳人で画家でもあった与謝蕪村を思い起こされる方もいらっしゃるかと思います。

葱買うて枯木の中を帰りけり

心ぬくもる手料理で、冬の団欒のひとつときを。



焼きかぶとみかんのサラダ
レシピはウェブで紹介しています



<https://www.e-kaiken.com/omoya/>

SAIN ESSAY

モノと記憶の結び付き 〜サステナブルを考える〜

皆川明さん Minagawa Akira
流行に左右されず、長年着用できる普遍的な価値を持つ「特別な日常服」をコンセプトに、ものづくりを続けるブランド「mima perhonen（ミナペルホネン）」のデザイナー／創設者。手作業の図案によるテキスタイルデザインを中心に、衣服、家具、器、空間など、日常に寄り添うデザイン活動を行われています。



浦上 日章

Text by
Urakami Nissho

ミナペルホネンの創設者、デザイナー・皆川明さんへのリスペクト回。

SAIN 73号では、皆川明さんの展覧会「つづく」で出会った言葉たちをご紹介します。

その後も何度か思考のメッセージに触れる機会があり、業界は違いますが、哲学としてボンヤリと見えていた私達の目指す方向性に、具体的なナビゲーションが備わっていきような、思考が整理される感覚を体験しています。

「共感の先の大量生産」

同じモノの品質を向上させながら継続して作り続ける。最初は少ない量でも、徐々

に、そして着実に共感の輪が広がっていった結果、生産のリクエストが増えていく。そうして長い年月を積み上げた上での大量生産であれば、技術はもちろん、社会や地域の発展を循環させていく流れが生み出されていきます。

「モノに宿る記憶への共感」

なぜデザインしたか、なぜ生まれたか、その背景や物語、その記憶が刻まれているからこそ、愛着が生まれ長く使い続けることができる。

そして別の誰かがモノに宿る同じ共感性のある記憶と出会ったとき、また新たな繋がりが生まれ、違う時間軸での記憶や物語が動き始めます。

「サステナブルを考える」

一つのモノを大切に長く使い続けることは、それだけで消費を抑えることに繋がります。リサイクルできること、リメイクできること、それと合わせて総合的に考えていくことが、本当の意味でのサステナブルな社会を形成していくのではないかと思います。

私達カイケンも、モノを生み出すメーカーとして、いつの時代にも調和し、そして長く愛されるような、普遍的な価値の創造を丁寧に見据えながら、私達なりのサステナブルの在り方を模索し、未来の環境を守ることへと繋げていきたいと思えます。

無添加 というだけでは 健康住宅 と言えない？

無添加という言葉は聞いて皆様はどのよう
に感じられますか？「添加物が入って
ないので体に良く健康になれる」と感じら
れる方がほとんどではないでしょうか。実
際、添加物が多く使われているより、出来
る限り入っていないほうが体に良いことは
間違いないでしょう。しかし「無添加」と
いう表示は、添加物が一つでも入ってい
なければ、無添加として商品が出せるとい
う曖昧な定義のもとにあります。

では、全ての原料・成分が無添加であれば
安全なのでしょうか？
また、私たちが日々住まう家考えた
きははどうでしょうか。やはりすべて無添加
とは言えません。住宅の内部を可能な限り
木や漆喰などの自然な材料で作ったとして
も、お風呂、キッチン、トイレ、サッシ、
換気扇、照明などの設備機器は化学建材に
なるでしょうし、木の表面は何か塗ってい
るのではないかと、また塗っている場合、そ
の塗料は安全なのか、使用されている接着
剤・防蟻剤は大丈夫なのか。さらに木
の原産国はどこなのか？ 素材は天然その
ままなのか？ 内壁の材料は？ などなどた
くさんの疑問が生まれてくるでしょう。
また、全くの自然のものであっても、木
を糊で固めた集成材であっても、海外から
入ってきて薬品づけになっていても、表面
に何か塗ってあっても、防腐剤や糊が使用
されている珪藻土も、自然素材がひとつで
も入っていれば、その商品は全て自然素材
という枠の中にくくられてしまいます。家
においては「自然素材」≠「無添加」とい
うイメージも強いです。どちらにし
ても定義は曖昧なのです。

それでも出来る限り自然に近い無添加と
いえる家を作りたいとして、安全で健康であ
るといえるのでしょうか。花粉症やアト
ピーなど、何かしらのアレルギーを持つ人
口は3分の1以上ともいわれ、シックハウ
ス症候群や化学物質過敏症も増えている現
在は、食べ物や水、日用品だけでなく、家
づくりにおいても家族や自分の体のために
健康を考えている方が多くなっています。
ピニールクロスが主流だった壁も、和紙
や漆喰・珪藻土などの呼吸する素材が増
え、合板使用の新材材から天然無垢材の床
が増え、化学建材から発生するガスをなく
そうと無添加で健康的な素材が選ばれるよ
うになりました。しかし、本当の健康住宅
かどうかの判断も難しいし、無添加なだけ
では健康な家とは言えないのです。
生活をしていく上で必要なもの、家具・
家電・衣類などの生活必需品なくしては、
ほとんどの方が不便と思われることでは
しょう。では、家具・家電・衣類などの生活必
需品から化学物質のガスが放散しているこ
とはご存知でしょうか？ それら無添加
の家に入れてしまうとどうなるか…。もう
答えはお分かりですね！ そうです、無添
加の家は放散されたガスを吸収してしま
い、今までと同じ不健康な家になってしま
うのです。

私たちが理想とする
「きれいな空気」とは、
自然の力が生み出す空気です。
森の緑の中や海を見晴らす砂浜で、私たち
は「空気が気持ちいいなあ」と感じます。
それは、日頃はつい忘れてしまっている
「人も自然の一部」ということを思い出す
から、なのだろうと思います。
自然の中で感じる「気持ちいい空気」
を住空間でも感じる事ができたなら、い
ちばん居心地のいい家になるのではないだ
ろうか…。そんな思いから「家は、空気で
建てる」という発想が芽吹き、自然の息吹
が香る気持ちのいい空気の中で、ご家族の
心と体に幸せが満ちていき、いつまでも心
地よい日々をお過ごしいただける「空気が
うまい家」が生まれました。

私たちは、いつまでも心地いい空気環
境の住まいで、ご家族が心も体も健や
かに過ごしたいだけ暮らしを、
ご提案していきたいと考えています。

幻の漆喰[®]

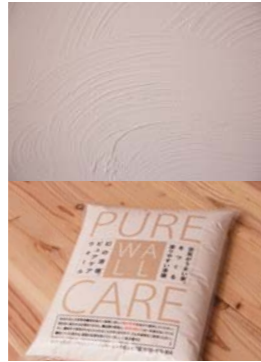


天然の空気清浄器

有明海の赤貝や銀杏草（海藻）などを使った完全天然素材の壁材。光と熱に反応する独自の光熱触媒作用を持ち、半永久的に室内の化学物質や有害物質を吸着・分解して住空間の空気を清浄に保ちます。ホコリも減ってお掃除もラクに。

幻の漆喰[®] ピュアケアウォール[®]

幻の漆喰を塗りやすくモダンに
鉱物を原料とした天然素材を使用し、
光熱触媒の技術で生成。原型となる
幻の漆喰と同じく、化学物質の分解力
に優れ、さらに今後の左官職人不足に
も対応できるよう、塗りやすく仕上げ
ています。



幻の漆喰[®] そとかべ

光熱触媒作用で 「経年美家」を実現

外壁専用の幻の漆喰「そとかべ」は、
光熱触媒技術を利用して汚れやすい
外壁材をクリーンに保ちます。耐水・
耐熱・耐変色・耐緑色化および耐カビ
試験により、強靱さや耐久性を証明。
時と共に味わいを増す「経年美家」の
住まいを実現します。



音響熟成[®]木材



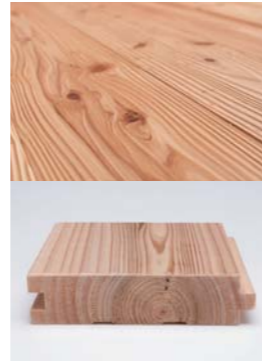
免疫力をアップする木「財」

南九州産の杉を、クラシック音楽を聴かせながらじっくりと常温で音響熟成したこだわりの木材です。木が本来持っている油分やエキスが残り、防菌・防カビなどの作用に加え、人間の免疫力をアップする働きがあるとされています。

音響熟成[®]木材 うづくりの床

素足にやさしく心地いい床材

「うづくり」とは、木の年輪を浮き上が
らせる加工法。自然な凹凸が足裏を
心地良く刺激して血行を良くし、冷え
症の方もご安心頂け、こどもたちの扁
平足予防にも効果的です。また、凹凸
が室内の光を拡散して目に優しく、眼
精疲労を和らげます。



竹炭入り清活畳[®]

さわやかで清々しい 健康的な空間に

6畳2間でドラム缶1本分の竹炭が
入った「清活畳（せいかつたたみ）」。
竹炭は化学物質を吸着する能力が備
長炭よりも優れるとされています。い草
の爽やかな香り・肌ざわりが、すがす
がしい空間をつくれます。



最新情報はウェブサイトどうぞ

本当の健康住宅、健康自然建材を知りたい方、
花粉症やアレルギー、シックハウスなどでお悩み
の方、住むほどに愛着がわく自然素材の家づくり
をお考えの方、ぜひご覧ください。

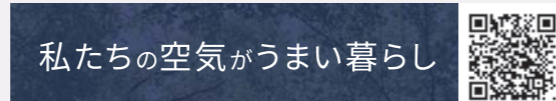
アクセスはこちらから
<https://www.e-kaiken.com>



自然を楽しむ暮らしの知恵をみんなでシェア



それぞれのみなさまの暮らしをご紹介します



SAiN 読者アンケート ぜひアンケートにお答えいただき、プレゼントご応募ください!

ご愛読いただきありがとうございます。これからも読者の皆様にますます喜んでいただける情報誌『SAiN』にしていくために、どうぞアンケートにご協力をお願いいたします。お名前・生年月日・性別・ご住所・TEL・職業・『SAiN』裏表紙に記載されている「正規取扱店名」をご記入の上、アンケートにお答えいただき、下記宛先までご応募ください。下のアンケート専用ハガキ・WEBでもご応募できます。

Q1 『SAiN』を知ったきっかけは?
①セミナー ②見学会・展示会 ③DM ④友人・知人からの紹介 ⑤その他

Q2 「健康住宅」のイメージは?

Q3 いちばん印象に残った記事は? (番号をご記入ください)
①表紙 ②PI. はじめのSAiN ③P2. 目次 ④P3・4. [特集]木と人の暮らし 世界篇 ⑤P5・6・7・8. 全国体感録(大分県 H様邸) ⑥P9・10. 施主 渋谷浩一郎様エッセイ ⑦PII・I2・I3. おもやの食卓 ⑧PI4. SAiNエッセイ ⑨PI5. 「無添加」というだけでは「健康住宅」と言えない? ⑩PI6. KAIKENブランド ⑪PI7. こだわりプレゼント ⑫PI7. 編集ほのぼの後記 ⑬裏表紙 ⑭その他()

Q4 役に立つと思われる記事はどれですか? (「Q3」の番号よりお選びください)

Q5 今後取り上げてほしいテーマ **Q6 『SAiN』へのご意見・ご感想**

Q7 ご希望のプレゼント番号とプレゼント名(第1・第2希望まで)

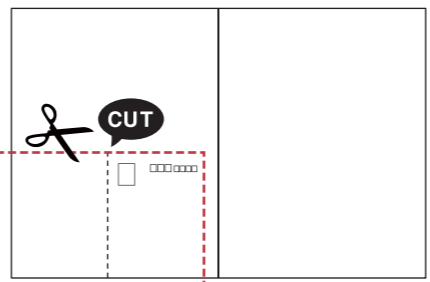
●ハガキ応募先 〒814-0171 福岡市早良区野芥2-27-5
カイケンコーポレーション(株)『SAiN』冬号vol.75 プレゼント係
●WEB応募先アドレス *スマートフォンは右のバーコードから
https://fkfb.f.msgs.jp/webapp/form/21221_fkfb_2/index.do
※ご当選者の皆様の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。



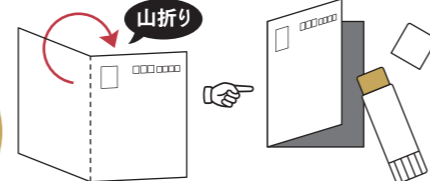
ご応募締切
2023年
2月19日
当日消印
有効

アンケート専用ハガキの使い方

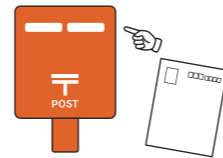
1 ハガキにご記入いただいた後、切り取り線に合わせて、ハガキを切り取ります。



2 切り取ったハガキを山折りにし、中面にのりをつけ、貼り合わせます。



3 記入漏れがないか確認いただき、郵便ポストへ投函ください。



こだわり ✕ プレゼント

※ご応募締切 2023年2月19日(日)



1 音響熟成木材手づくりテーブルセット

音響熟成木材手づくり家具の中でも人気が高い、テーブルと椅子のセット。使い込むほど木肌がなめらかになり、美しいツヤも出て、時とともに愛着が増していきます。写真のデザインで、寸法調整につきましてはご対応させていただきます。
※当選者決定後の製作となります

特製和紙シートを組み立てると、桜の花びらが立体的にうきあがる素敵なインテリア照明器具「コハルライト」。さくら色と電球色に切替でき、2つの違う雰囲気を楽しめます。このコハルライトと音響熟成木材の手づくりスタンドをセットにした特別コラボアイテムです。



2 音響熟成木材とコハルライトのコラボライト



3 オーガニックワイン リースリング パーレンアウスレーゼ 白

特別な年にだけ作られる、オーストリア・クレムスタールのデザートワイン。淡くゴールドを帯びて輝くイエローの色。華やかで甘い気品が漂う、熟してとろけそうな果実の香り。そして、幸福な余韻を長く残す、上品で繊細な甘口の味わいがお楽しみいただけます。

ヘルシーで体に負担をかけないお菓子が評判の福岡のヴィーガン・スイーツカフェ「リリーパリー」。白砂糖、卵、乳製品などを使わず、メープルシロップやオーガニック食材などのビュアでクリーンな素材を使った、奥深い味わいのクッキー詰め合わせです。



4 ヴィーガンクッキー リリーパリー クッキー詰め合わせ

ご当選者の皆様の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

キリトリ

(フリガナ)	生年月日	年	月	日		
お名前	性別	(男性	・	女性)
ご住所 〒						
お電話						
Eメール	メールマガジン配信 <input type="checkbox"/> 希望 <input type="checkbox"/> 希望しない					
ご職業	会社員・公務員・自営業・学生・主婦・その他					
『SAiN』を知ったきっかけは? (番号を○でお囲みください)						
① セミナー ② 見学会・展示会 ③ DM ④ 友人・知人からの紹介 ⑤ その他()						
「健康住宅」のイメージは?						
いちばん印象に残った記事は? (番号を○でお囲みください)						
①表紙 ②PI. はじめのSAiN ③P2. 目次 ④P3・4. [特集]木と人の暮らし 世界篇 ⑤P5・6・7・8. 全国体感録(大分県 H様邸) ⑥P9・10. 施主 渋谷浩一郎様エッセイ ⑦PII・I2・I3. おもやの食卓 ⑧PI4. SAiNエッセイ ⑨PI5. 「無添加」というだけでは「健康住宅」と言えない? ⑩PI6. KAIKENブランド ⑪PI7. こだわりプレゼント ⑫PI7. 編集ほのぼの後記 ⑬裏表紙 ⑭その他()						
役に立つと思われる記事は? ⑬上の質問の回答番号よりお選びください<						
今後取り上げてほしいテーマ						
『SAiN』へのご意見・ご感想						
ご希望プレゼント番号と 第1希望						
プレゼント名をご記入ください 第2希望						

※アンケートにご協力ありがとうございました。ご当選者様の発表は発送をもって代えさせていただきます。

郵便はがき

料金受取人払郵便

城南局 承認

309

差出有効期間 令和4年4月1日から令和6年3月31日まで <切手不要>

福岡市早良区野芥2-27-5
カイケンコーポレーション(株)

『SAiN』冬号vol.75 プレゼント係

ご愛読頂きましてありがとうございます。アンケートにご記入いただきましてご応募ください。

この『SAiN』の裏表紙に記載されている正規取扱店名を下記にご記入ください

※お預かりした個人情報は、カイケンコーポレーション(株)と正規取扱工務店からのイベントや見学会のご案内、本やプレゼント発送、アンケート集計以外には利用いたしません。尚、お客様の個人情報は厳重に管理し、第三者に譲渡することはありません。

編集ほのぼの後記

皆様、2022年も本当にありがとうございました。2020年から世界が大きく変わり3年。ビジネスやプライベートのシーンが新しいスタイルへとシフトし、世の中がとて速いスピードで更新されていく様子を私たちは体験してきています。それぞれの価値に対する捉え方も整えられた表面上のもの以上に、より深く掘り下げたコンセプトの根っこのところまで、一貫したパッケージでの表現基準が求められるステージへと移行している感じがしています。私達カイケンもVer2.0へアップグレードし、新たなステージへ向かって頑張ります!

🐾 チロクロ日記

12月に入った途端、凍える寒さです。急な温度変化で私達もしんどいですが、チロクロにとっても身を寄せ合う日々。クリスマスには暖かい寝床をプレゼントしようという計画中です。

いずれ、音響熟成木材と幻の漆喰でチロクロハウスを作ってあげようかなあと妄想もしています(ハハ)

2023年もどうぞ宜しく
お願い申し上げます!

SAiN編集部 浦上 日章

「空気うまい家」

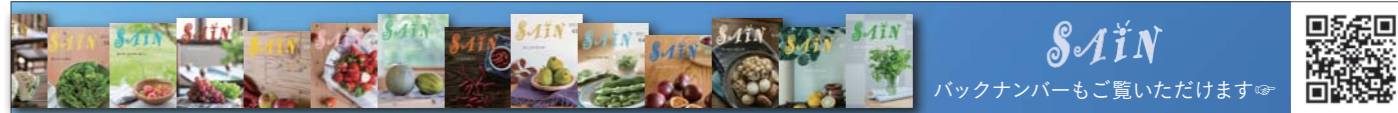
KAIKEN CORPORATION

0120-874-814

お問い合わせはフリーダイヤルでお気軽に (9:00~17:00 ※土日祝/休)

●本社/〒814-0171 福岡市早良区野芥2-27-5
●電話/092(874)6110 ●FAX/092(874)6113

●最新情報はWEBサイトでどうぞ <https://www.e-kaiken.com> カイケンコーポレーション



●「空気うまい家」「音響熟成木材」「幻の漆喰」「幻の漆喰ビューアウォール」「清活量」はカイケンコーポレーション株式会社の登録商標です。●商標登録「空気うまい家」登録第5700454号取得/「音響熟成木材」登録第4739348号取得/「幻の漆喰」登録第4739347号取得/「幻の漆喰ビューアウォール」登録第5672190号取得/「清活量」登録第4827042号取得 ●「空気うまい家」「音響熟成木材」「幻の漆喰」「幻の漆喰ビューアウォール」「清活量」は正規取扱店でのみお取り扱いしています。類似品にご注意ください。お取扱工務店等はWEBサイトでお確かめいただけます。

時を超える価値のある暮らし

The Timeless Life



Safety & Healthy
空気がうまい家®

お問い合わせは●カイケンコーポレーション健康自然建材 正規取扱店

SAIN 2022 WINTER ISSUE vol.75
© KAIKEN Co. All Rights Reserved.

発行●カイケンコーポレーション株式会社 〒八二四〇一七一福岡市早良区野芥二の二七の五 電話〇九二(八七四)六一一〇
【季刊】年4回・3月・6月・9月・12月発行 ※無断転載・複製を禁じます